

いよいよ、2010年今年最後の「芝公園・梁山泊セミナー」です。

第4回

芝公園・梁山泊セミナー

テーマ「地域の居場所という可能性」
——茶堂からコミュニティカフェへ

講師：久田 邦明（ひさだくにあき）氏



プロフィール

office chadoh [茶堂事務所] 主宰
神奈川大学講師

地域文化論、青少年教育論専攻。神奈川大学や東京学芸大学で生涯学習関連科目を担当。全国各地の青少年育成関係者に呼ばれて地域の居場所による地域社会の再生を提案している。著書に『生涯学習論—大人のための教育入門』『教える思想』『子どもと若者の居場所』（編著書）など。



「生涯学習論」



「子どもと若者の居場所」

日時：12月25日(土) 15:30～17:00
場所：東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 5F 大会議室



● 参加される方は、FAXかメールでお申し込みください。
FAX: 03-6697-0521
presskomachi@yahoo.co.jp

2010年・大忘年会のご案内

第4回「芝公園・梁山泊セミナー」終了後、日本女子会館向かいのメルバルク東京において、大忘年会を予定しております。ぜひ、ご参加ください。



一般社団法人 市民事業支援機構
COMMONS

東京都港区浜松町1-28-14 川崎ビルMBE702号
事務局：星野

<http://e-commons.com/>



芝公園・梁山泊宣言

●詳細は、田中尚輝のブログを参照 <http://blog.canpan.info/tanaka-naoki/>

「梁山泊」は、中国の古典『水滸伝』に登場する砦の名前ですが、過去の歴史、出自を問わず、能力ある人々が集合する場です。

この「梁山泊」を、日本においてスタートさせます。そのスタートを芝公園で行うために「芝公園・梁山泊」と称します。いま、現代版の梁山泊が必要な理由は、次の点にあります。

- ① 時代の大転換期にあり、その推進が急務であること、
- ② この推進のためには、有為な人材の結集が必要であること、
- ③ ところが、有為な人材は、それぞれが所属する企業、市民組織、行政等の社会的な縦割り組織の中に取り込まれており、社会の転換に知恵と力を合わせられずにいること、
- ④ 様々な組織に分散する有為な人材が、横断的に連携できる場を設定すること、
- ⑤ 梁山泊の旗印は、すべての人々が自己の能力を最大限発揮できる社会づくりです。

時代の転換期にあっては、自らの所属する組織・機関の個別利害を超越し、NPO、企業、官僚・行政マンがインフォーマルに連携し、人生をかけて勝負する人物の結集が必要です。その同志の集まる場が「芝公園・梁山泊」なのです。

それぞれが立脚している組織・機関が意味ないのでありません。それを超えた連帯が必要なのです。たとえば、ボランティア活動への参加者を増加させるためには、その基盤として「メシを喰える」ようにすることです。また、企業の利益第一主義の中で悶々としている人には、所属する企業が儲かることと、世の中をよくするためにNPO等との「薩長連合」のような大胆な組み合わせの企画力が求められているのです。そして、有為な官僚や行政マンが社会改革を考えるときには、自らをコントロールしている政治家に影響力を持つ多数の市民と手を組むことが必要なのです。

知恵ある人は知恵を、力のある人は力を、お金のある人はお金を出し合って巨大な社会改革のためのハーモニーを作りだしましょう。

「芝公園・梁山泊」は、当面、月に1回の勉強会を設定します。そこで毎月、テーマを持った人が新しい提起をし、参加者の意志と意欲を高めていきます。そして、有為な人の連携により知恵と力とお金を作っていく、社会改革のために活用します。

どうぞ、意志ある人は、「芝公園・梁山泊」にお集まりください。

2010年9月25日

■これまでの梁山泊セミナー

第1回(2010.9.25)

講師：田中尚輝（公益社団法人長寿社会文化協会常務理事） テーマ「芝公園・梁山泊宣言」

第2回(2010.10.16)

講師：海老塚良吉氏（法政大学現代福祉学部兼任講師） テーマ「民間非営利組織による住宅事業について」

第3回(2010.11.13)

講師：中野喜文氏（地域創造ネットワークジャパン理事） テーマ「ソーシャルビジネス&ソーシャルファイナンス」